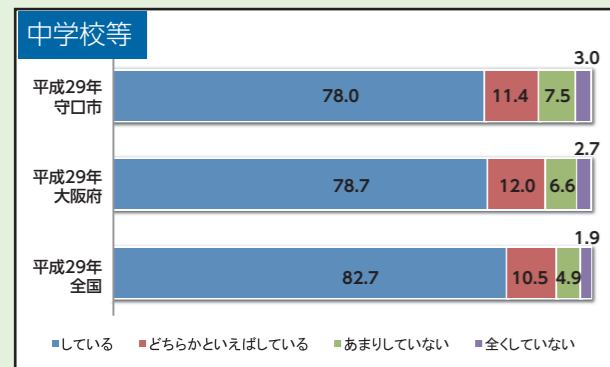
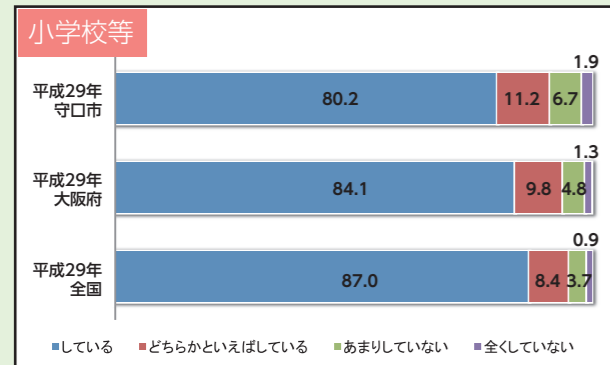


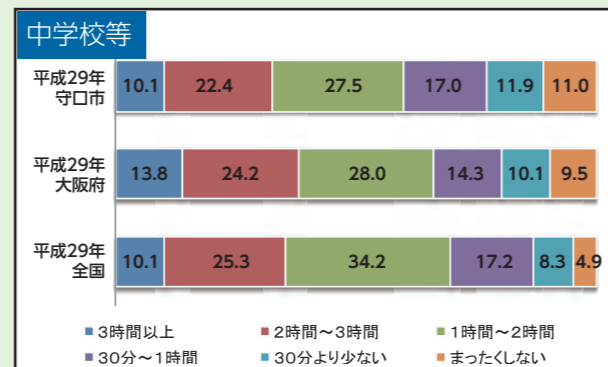
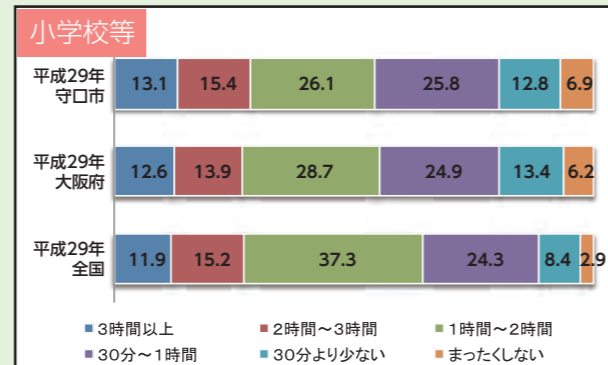
児童生徒質問紙調査

毎日朝食を食べると回答した子どもの割合は、中学校等で改善がみられ小中学校等ともに約8割でした。宿題など与えられた学習に取り組む習慣は特に小学校等で高い割合を維持していますが、普段、家で勉強を全くしない子どもや読書を全くしない子どもが、全国と比べて、いずれも高い割合になっています。

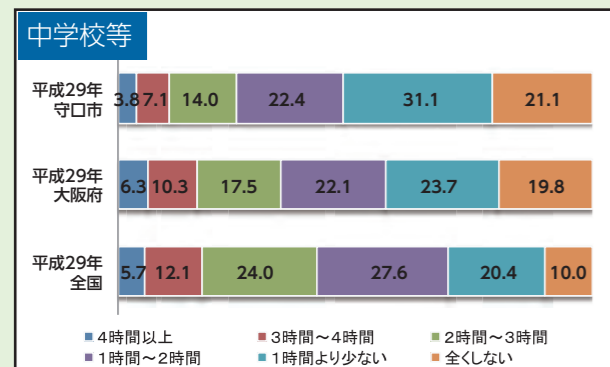
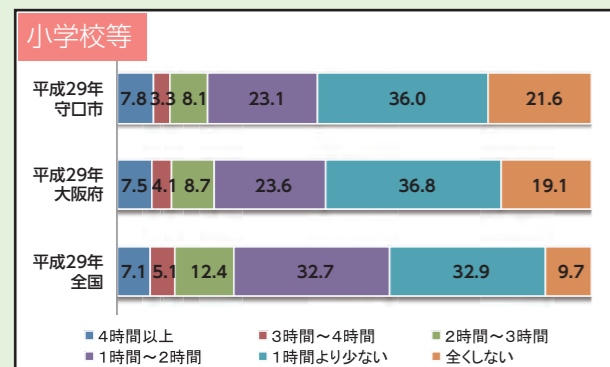
【質問】朝食を毎日食べていますか



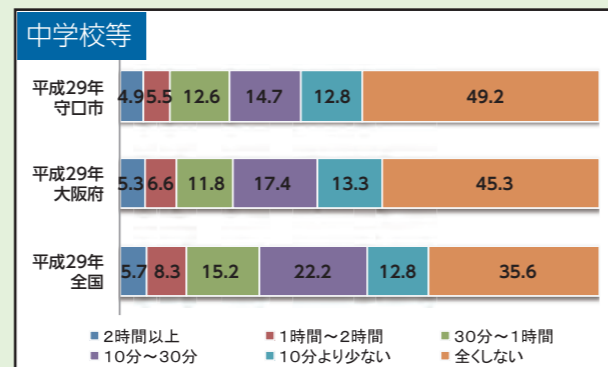
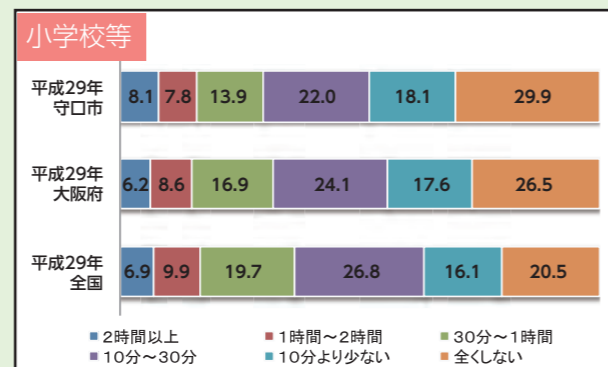
【質問】学校の授業以外に普段(月～金曜日)、一日どれぐらいの時間、勉強しますか



【質問】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか



【質問】家や図書館で、普段(月～金曜日)どれぐらいの時間、読書をしますか



平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果

4月18日に実施した全国学力・学習状況調査(小学校等6年生と中学校等3年生を対象)の結果をお知らせします。

注 小学校等：小学校と義務教育学校前期課程 中学校等：中学校と義務教育学校後期課程

A問題
「知識に関する問題」

B問題
「活用に関する問題」

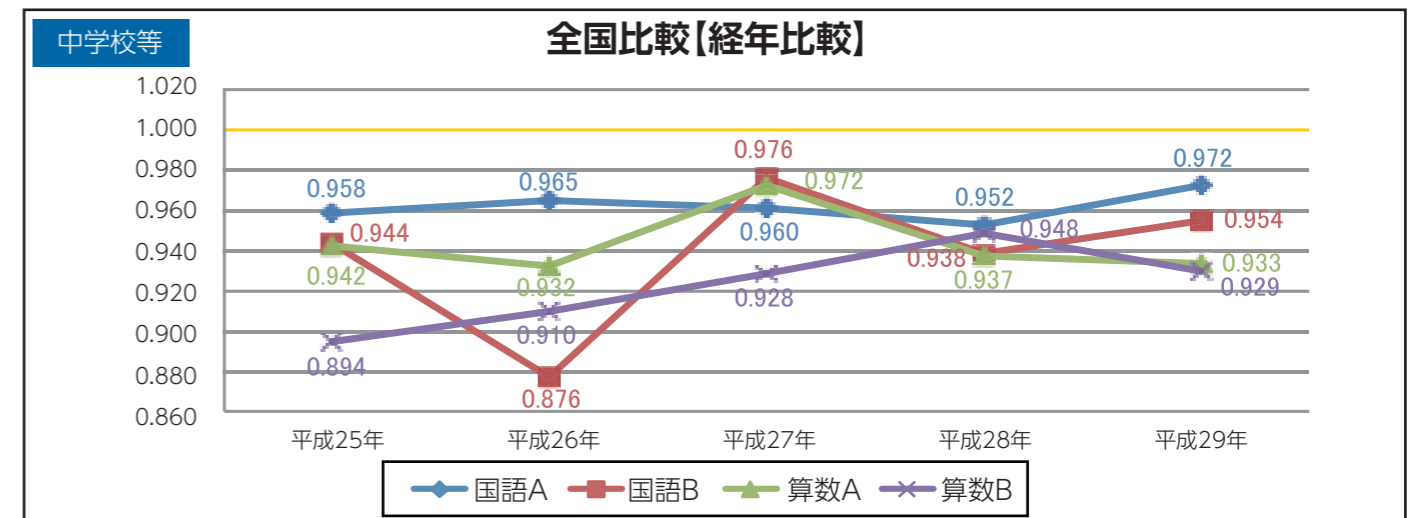
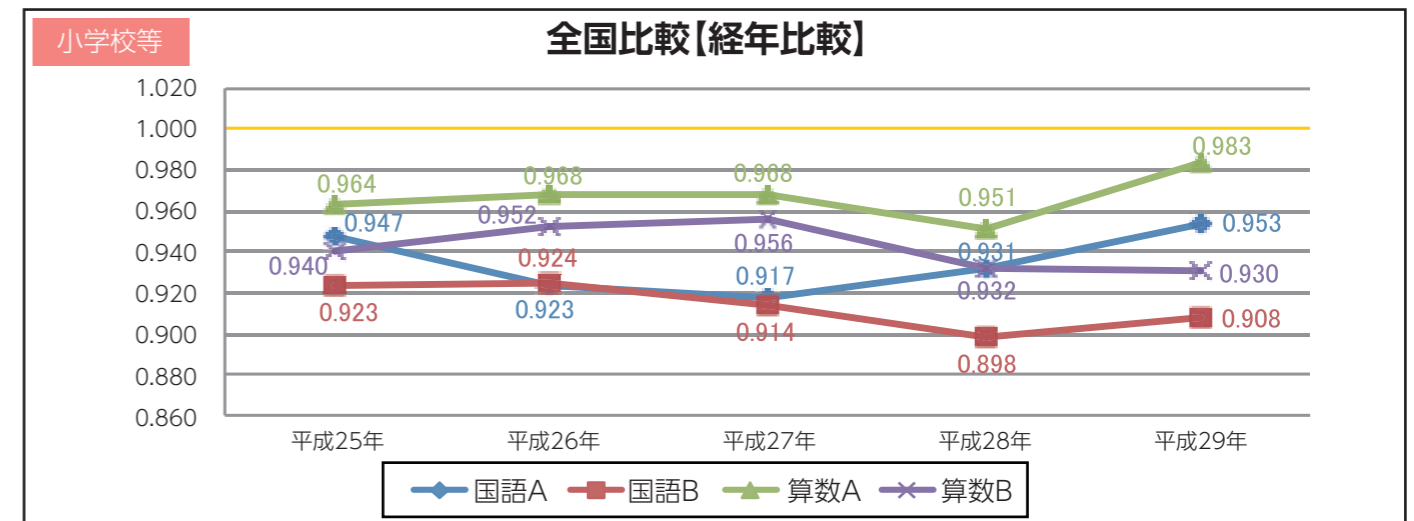
全国学力・学習状況調査 教科別平均正答率 (単位：%)

校種	国語A	国語B	算数A	算数B
			数学A	数学B
小学校等	71.3	52.2	77.3	42.7
中学校等	75.3	68.9	60.3	44.7

学力調査

全国と比較すると、小学校等では、近年やや低下傾向が続いていましたが、算数B区分を除く国語・算数に関する調査で向上がみられました。中学校等では、長期的には向上傾向が続いている中、国語で一定の向上がみられましたが、数学では、向上がみられませんでした。

注 全国平均を1としたときの守口市の割合を表したグラフ



読書活動の充実に向けて

学校司書やボランティア、各校の担当教員が連携し、図書の分類・整理、図書室の環境整備、図書の選書や廃棄の計画の作成、学習指導に必要な資料の準備、読書活動に関する学校行事の支援など、学校図書館としての運営をすすめています。

また、読書感想文コンクールに応募のあった作品から選ばれたものを、子どもたち自身が発表する場として読書感想文発表会を開催しています。読書の大切さを伝え、さらには、読書意欲の向上を促し、読書活動をより一層推進させることで、子どもたちの「読む力」「書く力」「伝え合う力」の育成を図ります。

学校・家庭・地域の連携が学ぶ力を付ける

確かな学力を育むためには、よりよい授業づくりとともに、家庭での自主学習に取り組む習慣を身につけることが重要です。特に家庭学習については、家庭・地域のご協力が子どもの意欲につながります。

保護者の皆さんへ

▽子どもが健やかに、規則正しく生活できるよう家庭環境を整えてください。

- ・早起きで、登校前にゆとりの時間をつくるようにしてください。
- ・朝ごはんを毎日摂らせてください。

▽子どもが自ら進んで学習できるように、話し合しましょう。

- ・学習の計画を立てさせる。
- ・子ども自身の興味や関心のあることから、楽しみながら自主学習を勧める。

▽本に親しむ習慣を子どもに身につけさせましょう。

- ・読みたい本を図書館などで一緒に見つける。
- ・辞書や図鑑などを身近に置き、子どもがいつでも調べられるようにする。



図書館



見守り



本の読み聞かせ

地域の皆さんへ

▽学校支援ボランティアとして協力してください。

- ・学習支援活動：授業の補助や放課後学習
- ・学校図書館支援：読み聞かせや図書の整備
- ・環境整備活動：花壇づくりや野菜の栽培など
- ・クラブ活動や特別活動の支援：指導の補助など

▽参観

- ・学校の授業や行事などを見にきてください。

▽見守り

- ・登下校や放課後の様子など、子どもの安全を見守ってください。

今後ご理解ご協力をお願いします。

なお、市ホームページに、詳しい調査結果を掲載していますので、ご覧ください。

☎学校教育課 ☎06-6995-3151

学力向上に向けて

現在、各学校では「学ぶ意欲の向上」「言語活動の充実と言語力の育成」「自学自習力の育成」を目指す、義務教育9年間の枠組みで学力を把握し、各中学校区の学校が連携しながら、学力向上にむけた取り組みを行います。

よりよい授業に向けて

各学校では、子どもが主体的に学習する「分かる・できる」授業を目指した授業づくりを行うため、校内での研修などにより教員の指導力向上に努めています。

研修では、各学校の研修テーマをもとに代表のクラスで研究授業を行い、教職員全員で意見交流を行い、授業に生かすようにしています。

また、中学校等では学習につまずいている生徒にきめ細やかな指導を行うため、臨時教員を活用した少人数指導を行っています。

自学自習力の育成に向けて

放課後学習

小学校等では地域のボランティアの協力のもと、児童の学びを応援する「学習支援サポーター」を派遣し、また、中学校等では臨時教員を活用し、放課後の時間を活用した放課後学習教室を実施しています。

家庭学習冊子

中学校等生徒の家庭学習習慣の確立や自学自習力の育成を図ることを目的に、国語・社会・数学・理科・英語の復習用ノートとして、家庭学習冊子「毎日チャージ！元気もりもりブック」を作成し、1・2年生の全生徒に配布しています。

土曜日学習

基礎基本の定着と、学ぶ意欲の向上を図るため民間事業者を活用(委託、事業者(株)トライグループ)した土曜日学習「もりもりスタディルーム～もりスタ～」を研究指定校2校(庭窪小学校・藤田小学校)で開催しています。

詳しく教えてもらえて、勉強が楽しい♪



菊池圭祐さん
(株)トライグループ・事業責任者

「子どもの“わかったつもり”を言葉のキャッチボールで見つけ“わかった”瞬間に小さな成功体験ができて、さらには「頑張ったね！できたね！」と褒めてあげることによって子どものやる気はあがります。

「子どもたちの未来は私たちの関わり方で変わります」家庭教師のトライは子どもの夢を叶えるために今後も子どもたちの未来を切り開く“きっかけ”を与えていきます。

「子どもたちに呼び掛けるとき、来たいという反応があり、第1回目の帰り際にも、“楽しかった”という声を聞いていい取り組みだと実感しています」

少人数制でわからないところを丁寧に教えてくれることで、子どもたちの評判はともよかったといえます。

「もちろん月曜日～金曜日の授業をわかりやすく楽しくするのが教職員の仕事ですが、それとともに休みの日にも学習する習慣を付けることも大事で、土曜日学習がそのきっかけになることを願っています」

友達とも交流をしながら、学校の授業でわからなかったことの振り返りにもなります。

土曜日学習の輪を広げるには、地域やPTAの皆さんの協力が必要になります。休日に学習の場を提供することは子どもたちの可能性を広げます。



廣瀬 浩
庭窪小学校校長

“続けていきたい！やってみたい”と子どもたちの声があり、はじめは、不安を持っていた子どもたちの意識は変わってきています。

「冗談を交えながら、わかりやすく教えることが大切」と阪井田さん。お互いの緊張をとるためにも、笑顔でコミュニケーションをとりながら子どもたちも、自分自身も楽しくやることを心がけています。

「勉強をせなあかん、させられている。といった押しつけ感を緩和し、子どもたちの“もっと学びたい”を引き出したいですね」



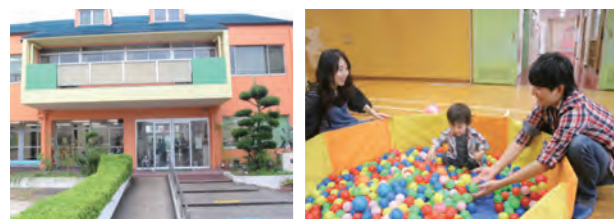
阪井田尚宏さん
(学習指導員)

守口市立児童センターへ行ってきました！



愛のみのり号で市役所から「ふれあいの家」バス停留所下車
 愛のみのり号には、チャイルドシート(1席)が備え付けられているので、未就学児でも安心して乗車できます。

到着



守口市立児童センターとは

地域社会におけるレクリエーションセンターとして健全で楽しい遊び場を提供し心身の発達の向上やその育成に努めることを目的としています。



取材を終えて...



プロのスタイリストにメイクをしてもらって、いつもと少し違う自分に変身できました。
 児童センターの紹介ということで家族全員で取材に同行してもらい、楽しい施設に子どもも大喜び。
 今まで知らなかった施設や場所、守口市の良いところを、市民の皆さんにも発信する「もりドラ」への参加、楽しかったです。

モデルに変身



技術提供: be'leaf ric (ビリーフ リック)

「もりドラ」はじまる。



もりぐちで生きる。をドラマチックに...

第1回目のモデルは、八雲西町にお住まいの坂元さんご一家

「もりドラ」とは

市の魅力を一緒に伝えてもらうため、市民モデルに応募していただいた人の中から広報もりぐちの取材テーマに応じて同行してもらいます。

モデルには「もりぐちの“いいところ”“気になるところ”」を紹介してもらい、その様子を広報誌・ホームページに掲載します。またSNS (Instagram、Facebook、Twitter) でもモデル自ら発信するだけでなく、市の公式アカウントからも発信することで市内外に広く周知します。



市民モデルになりませんか

当日、モデルにはスタイリストによるメイク・ヘアメイクを受けていただきます。

いつもと違うスタイルに変身すれば、住み慣れた守口がいつもと違って見えるかも知れません。そんなあなたが感じる守口の魅力を私たちと一緒に発見しませんか。

市民モデルには自身のSNS (フェイスブック、インスタグラム、ツイッター) アカウントを使って、取材の様子を発信していただけます。

協力美容院を募集しています

市民モデル事業の趣旨に賛同し、市民のメイク・ヘアメイクを無償で提供していただける美容院を募集しています。

市民の皆さんが日常から非日常へと変貌していただくきっかけのお手伝いをさせていただきます。

申し込みなどの詳しい内容は市ホームページ (QRコード) をご覧ください。

問 広報広聴課
 TEL 06・6992・1353



坂元さんの疑問に答えます

- Q. 何歳の子どもが利用できるの？
 A 保護者が同伴する0歳〜就学前までの乳幼児と小学校の児童です。
- Q. 開館日や開館時間は？
 A 開館日時は、月曜日〜土曜日の午前10時〜午後5時までです。日曜日および祝日、年末年始(12月29日〜1月3日)は休館日になります。
- Q. どんな遊び道具があるの？
 A どの年代の子どもでも楽しんでもらえるよう、ボール遊びやボードゲーム、手作りすべり台などたくさんの遊具を用意しています。また、センターの2階には図書室もあり、本を読むことが好きな子どもにも満足してもらえます。

アットホームな雰囲気心がけて



藤川センター長

児童センターのおもちゃの多くは職員が手作りしています。子どもたちには、牛乳パックなど身近にあるものでもちやが作られていることや、おもちゃをすぐに捨てずに大事にするという気持ちを養ってもらい、手作りならではの温もりを感じてもらいたいですね。

居場所を求めている子どももたくさんいると思うんです。だからここに来たい、居心地がいいと思ってもらえる、また保護者同士の交流の場所としても利用してもらえようように当センターはアットホームな場所・雰囲気であり続けたいです。

今後はより多くの市民の皆さんに児童センターを知ってもらい、たくさんの方に利用してほしいですね。

もりぐち児童クラブ入会児童室を民間委託によりサービス拡充するプラン(案)を公表

本市では、児童の健全な発達成長を図るため、全小学校・学園で小学校1～6年生の児童などを対象に、自主的な子どもの遊び場である「登録児童室」と、保護者が就労などで保護育成のできない小学校1～3年生の児童を対象に、子どもの生活の場である「入会児童室」を実施しています。

入会児童室は、現在、市で管理・運営していますが、保護者からのニーズが強かった「開設時間の延長」を、すべての入会児童室において平成31年4月から実現するため、市が事業責任を負いつつも、その運営は民間委託により実施するプラン案を策定・公表しました。

今の課題とプランのめざすもの

本年4月に保護者アンケート調査を実施しました。その結果から「開設時間の延長」の保護者ニーズが極めて高く、また、府内や全国の市町村における入会児童室の開設時間と比較しても短いことから、開設時間の延長が喫緊かつ最大の課題であることが改めてわかりました。

しかし、市による管理・運営でそれを実現するには、指導パートナーの確保とともに、何よりも利用者のご負担を抑えるために、時間延長によるコストアップをできる限り吸収することが大切と考えました。

そこで、全国的にも先行事例のある、民間への運営委託を導入することで、民間のノウハウによる人員体制と市直営の時に必要であった管理運営業務(人員確保・配置、出退勤管理、給与支払等)の経費縮減による効果を活かして利用者負担金を抑制しつつ、サービス拡充を図れるとの判断から本プラン案を策定しました。

民間委託後の市の考え方

【実施時期】平成31年4月1日から予定しています
【実施場所】今までどおりです

【開設時間】

	開始時間	終了時間	開設時間		開始時間	終了時間
平日	放課後	18:00	→ 延長	平日	放課後	19:00
土曜日	9:00	17:00		土曜日	8:00	19:00
長期休業日	8:30	18:00		長期休業日	8:00	19:00

【人員体制】

指導パートナーの配置人数など、現在の保育サービス水準は変更しません。

【基本的な考え方】

民間委託後も市が事業主体(責任)であることに変わりはありません。

【利用者負担金】

時間延長によるコストアップは、市直営から切り換えることにより管理運営業務コストを抑え、サービスを拡充します。利用者負担金は今後決定しますが、市直営で時間延長を実施するよりも、利用者負担金は抑制できます。

委託事業者の選定方法

【選定方法】

公募型プロポーザル方式を採用します。委託金額の多寡だけでなく、保育の質に関する項目も評価対象として選定します。パートナーの継続や保護者の皆さんと作り上げてきた行事や交流の継承も求めていきます。

【選定委員会の設置と審査内容】

条例に基づき選定委員会を設置し公平・公正に審査します。選定委員には、福祉や子育ての分野に精通した有識者などを委員として参画いただき、子どもの育成面で専門的見地からも審査し、優れた内容の提案を行った民間事業者を選考します。

よくある質問と回答

Q1 市は民間委託後は、入会児童室の運営に関わらないのですか。

A1 委託後も、公設民営での運営形態であり、この事業の実施責任は今までと同様に市にあります。民間事業者任せにはなりません。民間事業者に任せきりにはなりません。適正な運営がなされるよう市が責任を持って、事業を管理・監督します。

Q2 現在、勤めている指導パートナーは総入れ替えになるのですか。

A2 民間事業者が雇用する指導パートナーとして、民間委託後も入会児童室に従事してもらいたいと考えています。このことから、民間事業者が現指導パートナーを引き続き雇用するかどうかは、事業者選定の審査基準における大切な条件と位置付けます。

Q3 現在、各入会児童室で実施されているイベントなどはどうなるのですか。

A3 親子参加型のイベントなど、児童や保護者との交流の催しは、民間のノウハウを活用し、事業者から積極的に提案を受ける予定です。また、保護者会行事のこれまでの活動はできる限り継承されるよう、主要行事やその開催状況をあらかじめ民間事業者に情報提供するなどし、その協力を求めていきます。

Q4 民間事業者が利益の確保を優先し、保育の質が低下しませんか。

A4 事業者選定の際にどのような保育内容や人員体制で運営するのかを審査する予定です。また、仕様書などでも保育内容の水準を担保させます。加えて安定的運営の観点から複数年契約を予定しています。仕様書などのおりに運営されているかは、事業者の経営状況と運営状況の書面審査とともに実地調査を行います。さらに、市が必要と判断したときは業務や経理の状況に関し報告を求め、場合によっては改善・指導を行います。

9月1日から実施したパブリックコメントには、市内外から1,200件ほどのご意見を頂きました。今後、これらの寄せられたご意見の「回答」も行いつつ、検討を深めプランを確定してまいります。

問 放課後こども課 TEL 06-6995-3160



本会議さながら
守口子ども議会

8月19日、「守口子ども議会」(守口ロータリークラブ主催)が開催されました。「守口子ども議会」は子どもたちに議事運営を通して議会の仕組みを知ることや市政への関心を高めることを目的とし、全中学校および義務教育学校(8校)の生徒会から各2人、計16人が子ども議員として出席し、市議会同様に議長、副議長、質問者の3つの役割に分かれ、模擬議事を開催しました。

今回、議長・副議長役の子ども議員は議事の進行を交互に行い、質問役の子ども議員は「ごみ問題」、「地震や風水害等への防災対策」、「学校環境」、「生活環境」、「いじめ問題」、「高齢者問題」というテーマで行政者側に質問しました。

子ども議員たちは緊張の中、与えられた役割を果たし、堂々とした姿に集まった人々たちから大きな拍手が上がっていました。



記念撮影